

METTS NEWS LETTER

教職課程センター・地域学校教育センター

特集 2019 明海大学シンポジウム

2019年2月9日(土)午後1時から午後4時30分、本学にとっては3回目となるシンポジウム「2019 明海大学～大学と地域連携の未来～」が開催されました。当日はかなりの積雪があり肌寒い一日でしたが、浦安市民をはじめ多数の皆様にお越しいただきました。本学の学生や教職員等が実施した小中高等学校に対する支援に関する実施状況について紹介するとともに、その成果と課題などについて、広く地域関係者・関係機関等とともに共通理解を図り、本学の今後の地域支援の在り方を探ることができました。有意義な一日となりました。心から感謝申し上げます。

今年度は日本語指導支援、英語教育支援及び浦安市立小学校連携事業報告の3つの分科会方式で実施されました。今回は総勢300名の聴衆にお集まりいただきました。各分科会講師として、文部科学省から林健吾様、同じく富高雅代様、日本福祉大学の村上哲也様をお招きしてのシンポジウムとなりました。当日は足立区長近藤やよい様、足立区教育長定野司様、浦安市教育長鈴木忠吉様を来賓としてお迎えすることができました。今後明海大学が地域支援をどのように進めていくべきかの方向性をより明確にすることができました。



総合司会を担当して

英米語学科4年 小川 隼斗

今回は総合司会と第2分科会の司会をさせていただきました。どの分科会も興味深いものばかりで、今後勉強を続けていく上での参考になりました。明海大学は様々な面で連携を行っていることを知り勉強になりました。また、私自身が明海大学の一員として連携事業に関わることができたことを誇りに思いました。今回このような大きな舞台で大役を任せていただき、とても大きな良い経験になりました。今後も、色々な経験を通して成長していければと思います。

パネリストを体験して

日本語学科4年 稲石 励

私は今回のシンポジウムにパネリストとして参加させていただきました。自分の考えを言葉にする事の難しさを痛感しました。3年間のボランティア活動を通し、多くの学びを得ることができましたが、その学びを上手く言葉で伝えられない事にもどかしさを感じました。4月から千葉県立高校の国語科の教員となるので、学校現場では伝えやすい言葉を使おうと思いました。今回の経験を活かし、わかりやすく伝えることを意識して生活していきたいです。本当にありがとうございました。



アゴラ活用状況(人)

1月	770
2018年度 延べ数	12,153

2019 年度を準備万端で迎えましょう。

上智大・藤田保教授の講演「英語教育の改善について」

英米語学科 3年 佐藤 みゆき

2019年1月31日、私たちは上智大学の藤田保先生の御講演を拝聴しました。学習指導要領の改訂に伴い、英語教師に求められる資質・能力も変わることが今回の講義で感じました。その資質、能力は、生徒に英語に対しての苦手意識を持たせない授業をすることだと思います。今まで私が受けてきた授業にとらわれず、生徒が主体的に学べる環境づくり授業づくりを目指します。



2018 年度模擬授業合宿開催

2月12日（火）から14日（木）の2泊3日、日本語学科・英米語学科の学生23名が、勝浦セミナーハウスで模擬授業合宿を行いました。合宿中は先生方や4年生等から厳しくも優しい指導を受け、6月の教育実習に向け大きなスタートを切ることができました。日本語学科3年の寺尾凱晟さんは「教育実習を目前に控えた私にとって、基礎学力の不足という課題を改めて与えられました。これから克服してまいります。」と感想を寄せました。

教員採用試験合格体験報告会

2月16日（土）13時から15時、今年度と昨年度の採用試験で見事最終合格を手にした4名の皆さん（稲石君、上川君、卒業生の小関君、大塚さん）に、合格するまでの努力、苦しかったこと、嬉しかったことなどをお話いただきました。出席した後輩にとっては、合格の可能性と勇気をいただいた報告会となりました。素晴らしいお話を語ってくれた4名の皆様に改めて御礼を申し上げます。



「小学校英語支援」の引き継ぎ

英米語学科 3年 渡辺幹太

先輩方のボランティア活動を引き継ぎ、浦安市立日の出小学校での英語支援補助が始まりました。日の出小学校は英語教育に力を入れている学校です。学年による授業の違いや児童との関わり方など小学校でしか学べないことを勉強します。困った時には先輩方にアドバイスを受け、「教職ボランティアの明海大学」と社会から今まで以上に認められるような活動をしてまいりたいと思います。